



就労を
めざして



ビジネスマナー 講座

就労を目指す特別支援学校高等部生徒を対象に、障がい者しごと支援センター木の実 副施設長 富永様を講師としてお迎えし、ビジネスマナー講座を開催しました。また、就労に向けた家庭や学校での支援につなげるため、保護者や学校の担当教員も参加しました。

を開催しました！！

日時：令和4年8月18日(木)
会場：福岡市発達教育センター
参加者：合計20名
(生徒7名 保護者5名 教員8名)



↑セミナーのようす



↑障がい者しごと支援センター木の実副施設長 富永氏

～ 講演内容 ～

「働くためにたいせつなこと」

1. ビジネスマナーとは何か
2. ビジネスマナーの基礎
3. 働くためにたいせつなこと

障がい者しごと支援センター木の実は、就労移行支援事業所や就労継続支援 B 型事業所などの運営を行い、障がいのある方や引きこもりなどの生活困窮者への就労支援を行っています。

今回は、実際に木の実で実践しているビジネスマナーの内容をもとに、障がいのある方の就労支援に携わることから具体的な事例を挙げながら、お話をいただきました。

1. ビジネスマナーとは何か



富永様は、「ビジネスマナーとは、仕事をする上で関わる人には思いやりの心を持って接することや、仕事をする上で必要な決まりごとはきちんと守ることで、それが身についていると、会社から信頼され、支援を受けながら長く働き続けることができます」とビジネスマナーの意義や、ビジネスマナーを身につける必要性についてお話をいただきました。

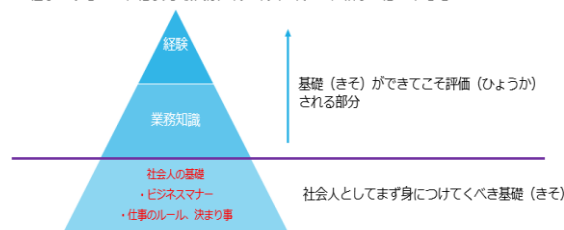
2. ビジネスマナーの基礎

ビジネスマナーの基礎として、職場で良い人間関係を築くために必要なコミュニケーション(あいさつ・笑顔・丁寧なことばづかい・返事)や身だしなみ、報告・連絡・相談の仕方、また仕事と生活のバランスなどについても、具体的な場面を挙げながら、「思いやりの心を持つ」「決まりごとを守る」という視点から分かりやすくご説明されました。

ビジネスマナーとは



- ・職場で信頼してもらうためにとても大切なこと
- ・仕事をするために必要な最低限のルールやマナー、相手を思いやる心



3. 働くためにたいせつなこと

富永様は、「ビジネスマナーは、“日頃から規則正しい生活をする”中で身につけていきます」とお話しされ、特に「自分でできることは自分です」「決まりごとを守る」ことが大切で、ご家族や学校の先生はこのことを心掛けて支援を行ってほしいとのことでした。

最後に、「このセミナーでビジネスマナーがなぜ必要なのかについてしっかり学習しました。今後このことについて考え、就労に向けて取り組んでください。」と生徒にお話しされ、講演を締めくくられました。

～ 参加者からの感想の一部をご紹介します ～

・生徒より

私はビジネスマナーって何？と思いました。そうしたら、“思いやり”と聞かされてびっくりしました。これからは、思いやりを大切にしていこうと思っています。

・保護者より

家庭でできることなど具体的でわかりやすかったので、やってみようと思いました。子供が困らないようについ先に言うので、見守ることもそろそろ大切だなと改めて感じました。子どもとも、今、自分にできることについて話をすることもできたのでよかったです。

・教諭より

ビジネスマナーは“何のために必要なのか”という視点にもっと重きをおいて伝えると、ビジネスマナーがより生徒の心に響くと感じました。(大切な2つ“思いやり”“自分でできることを自分です”)

令和4年度 障がい者就労支援セミナー

障がいのある人の就労支援 ～その課題と新しい支援のあり方～



令和4年10月28日(金)に早良市民センターで「令和4年度障がい者就労支援セミナー」を、福岡市障がい者就労支援センター主催・発達教育センター後援で開催し、企業担当者や支援機関、保護者、本人など160名の方にご参加いただきました。

講演会では、早稲田大学 教育・総合科学学術院教授 梅永 雄二氏にご登壇いただき、アメリカの障がい者雇用や支援の状況を交えながら就労上の課題や必要な支援についてお話いただきました。

その中で梅永氏は、発達障がいのある方への生活支援の重要性について強調され、できないところは相談し、支援を受けるというスキルを教えることが大切であるとお話されました。

当日は2時間近い講演となりましたが、梅永氏の長年のご経験を踏まえた具体的な支援のあり方についてのお話は学びが多く、会場の参加者は熱心に聞き入っていました。



■ 講師
早稲田大学
教育・総合科学学術院
教授 梅永 雄二 氏

【主な著書のご紹介】

- ・『自閉症スペクトラムの子を育てる家族への理解』
- ・『発達障害の人の就労アセスメントツール』
- ・『発達障害・知的障害のための合理的配慮ハンドブック』 他多数

～ 参加者のご感想の一部をご紹介します ～

- ・特別支援学級に通う小学1年の子供がいます。将来のこと、まだまだ先のことと思っていましたが、この段階で勉強できてよかったです。
- ・発達障がいの方と関わるが多くなり、どのように支援し、関わりを持てば良いのかが、今回の研修ですごく勉強になりました。

分身ロボットカフェ DAWN in Fukuoka



株式会社オリィ研究所が手掛ける、分身ロボット「OriHime (オリヒメ)」のパイロット (操縦士) として、難病や重度障がいで外出困難な人たちが自宅等からパソコンやタブレット端末を使用し、遠隔操作で接客を行うカフェが、福岡市中央区鳥飼2丁目の西日本シティ銀行ココロ館ココロガーデンで令和4年11月12日~27日の期間限定で開店しました。

※ 分身ロボットカフェではOriHime (オリヒメ) を遠隔操作して働く方を「パイロット」と呼んでいます。



↑ 店頭でお出迎えのOriHime。この日の出迎え担当パイロットは神奈川県在住の方でした。

福岡市立南福岡特別支援学校及び今津特別支援学校高等部の生徒が、OriHime を使った「遠隔トレーニング」を積み、このカフェで「研修生パイロット」(接客担当)としてデビューしました。

テーブル上の OriHime を通して、特別支援学校高等部生徒が接客を行ったのは、OriHime に興味があった N さん。福岡でカフェが開催されることを知り訪れたそうです。高等部生徒は愛知県と北海道在住の障がいのある方と一緒に、3人で接客を行いました。

接客担当の3人は OriHime を介して食事の注文を受けたあと、Nさんと地域のご当地麺料理のことや、好きな芸能人などについてお話をし、世代も住む場所も違いますが、和気あいあいと会話を楽しんでいる様子はとても印象的でした。

高等部生徒は、一般のお客様を相手に接客を行うのは初めてでしたが、先輩パイロットの助けを借りながら、接客を楽しんでいる様子でした。

接客を受けた N さんからは、「技術の発達で家を出ることが困難な方でもリアルタイムでお話できるなど様々なことができるようになりました。今後はこのような技術の発達が、障がいのある方の働く可能性につながってほしい」と感想をいただきました。



↑ 接客中の様子

～ 接客を担当した生徒の感想 ～

「ロボットを遠隔操作しながら、お客様から注文を取ったり、お話をしたりすることは難しかったですが、とても有意義でした。そして、私と同じように身体に障がいをもつ先輩パイロットさんに出会ったことで、将来自分が本当に働けるのかと不安でいっぱいだった気持ちに、自分も働くことができるのだという希望が湧いてきました。」



↑ 接客を行う OriHime

株式会社オリィ研究所は、「この取り組みを通じて、地元の企業には「これなら受け入れられる」というイメージを、肢体不自由の生徒さんたちには、卒業後の具体的な進路のイメージを持ってもらい選択肢の多い社会作りを目指しています。」と語られました。

お知らせ

令和4年度 「夢ふくおかネットワーク」

保護者セミナー

動画配信

就労に向けて「働くためにたいせつなこと」

本セミナーでは、就労移行支援事業所や就労継続支援B型事業所などの運営を行い、障がいのある方の就労支援を行っているご担当者を講師としてお迎えし、就労に向けた家庭における支援についてお話いただきます。今後の就労に向けた家庭支援につながる内容となっています。多数のご視聴をお待ちしております！！

配信期間

3月8日(水) 10時 ~ 3月22日(水) 16時まで

【YouTube 限定公開】ご都合の良い時間帯にご視聴ください。

対象

保護者、当事者、企業・事業所、教員、支援機関の方など

参加費

参加費無料 (視聴通信費は各自のご負担になります。)

お申込み

お申し込みフォームはこちら

申し込み期限 3月16日 (木曜日)



お申し込み後、視聴用 URL を 3月6日(月曜日)以降の平日(月曜日~金曜日)にお知らせします。
視聴用 URL の返信がない場合、発達教育センターまでご連絡ください。

■セミナーに関するお問い合わせ先

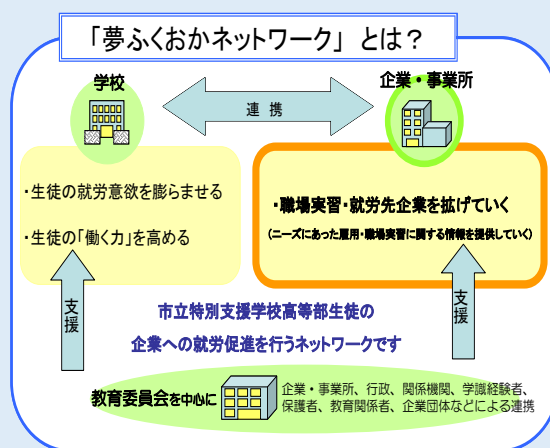
福岡市教育委員会 発達教育センター 【担当：平井、宮代】まで



夢ふくおかネットワーク

登録企業を募集いたします！！

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内特別支援学校高等部生徒の企業・事業所への就労を、雇用される側(生徒)、雇用する側(企業・事業所)の両側から捉え、推進していく取組を行っています。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信などを行っていきま



福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

TEL 092-845-0015 FAX 092-845-0025

E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp

HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

